National

施工説明書

マルチメディア ポートS

施工店様へのお願い ●施工前に必ずこの説明書をお読みください。 ●この説明書は、取扱説明書とともに必ずお客様にお渡しください。 ●施工するには、電気工事士の資格が必要です。

安全上のご注意

⚠警告

●必ず分電盤の電源（AC 100 V）を切った状態で施工してください。活線工事は感電や故障の原因となります。

●電源線は電源用端子に確実に差し込んでください。
差し込みが不十分な場合、発熱する恐れがあり、火災や焼損の原因となります。

●電源用端子に、より線をハンダ仕上げして使用しないでください。
発熱する恐れがあり、火災や焼損の原因となります。

●交流（AC 100 V）以外で使用しないでください。感電や故障の原因となります。

●直射日光の当たる場所や発熱する器具の近くなど、温度の高くなる場所には設置しないでください。

●適切な太さのねじで確実に取り付けてください。壁面からの脱落により、けがや故障の原因となります。

●調理台のそばなど油飛びや湿気が当たるような場所、ほこりの多い場所には設置しないでください。火災や感電の原因となります。

●水のかかる場所（屋外・浴室）や湿気の多い場所には設置しないでください。感電や故障の原因となります。

施工上のご注意

●この製品は屋内専用です。屋外には設置しないでください。

●テレビ、ラジオなどの家電製品が置かれる場所には設置しないでください。受信障害や通信障害の原因になることがあります。

●電源線とその他の配線が接触しないように施工してください。

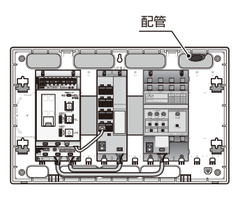
●映像系・通信系の配線と電源線のノックアウトは分けて配線してください。また、平行配線する場合、10 cm以上離してください。

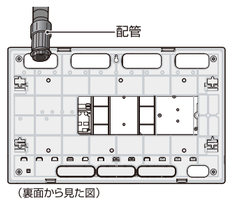
●施工時に電源線の絶縁抵抗測定を行なう場合は、マルチメディア ポートSへ接続している電源線をはずした状態で実施してください。

●汚れは、柔らかい乾いた布で拭き取ってください。ベンジンやアルコール等で拭かないでください。
変色や変形の原因となることがあります。

FTTH（光ファイバ）の配管について

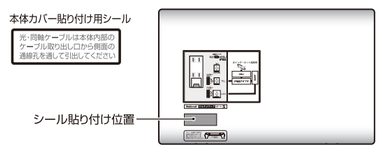
1. 光ファイバ取出し口裏上部に管の先端がくるように配管してください。
また、配管にはケーブル引き込み用の呼び線を通しておいてください。





（裏面から見た図）

2. 配管後、付属の「本体カバー貼り付け用シール」をカバー前面左下に貼り付けてください。



※アングルコネクタ取付金具DSWTJ1001［別売］を使用すると管端が固定できます。
※LAN,TELケーブル用配管は、配管固定金具DSMKN1001［別売］を使用すると管端が固定できます。

3. 部屋のコンセントからモデム、ルータなどを接続される場合には、LAN+TEL+TELコンセントの近くに配管してください。

取り付ける前に

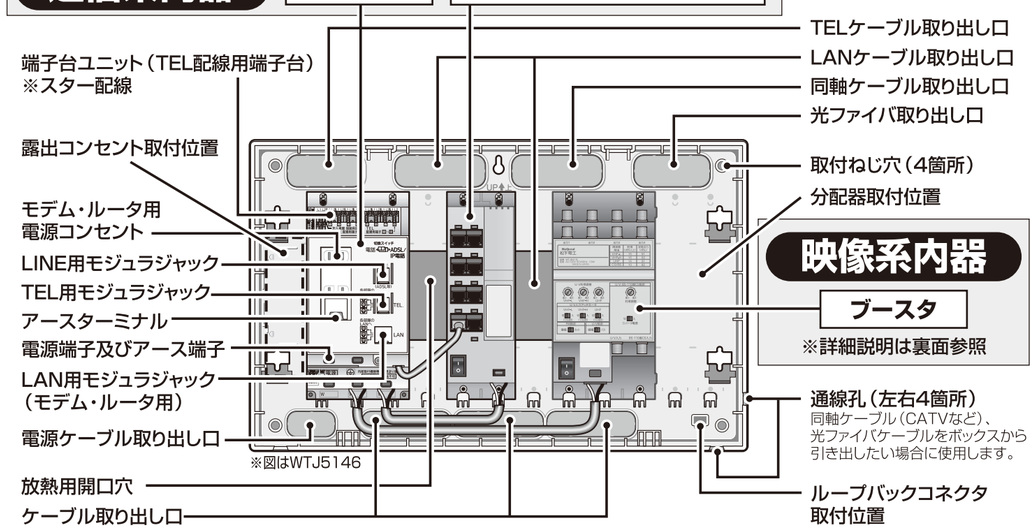
●天井面から15 mm以上および、両側面と下面から50 mm以上離して取り付けてください。

●大壁・中空壁への露出または半埋込取付には、下地工事が不要の取付けはさみ金具［別売］をご使用ください。

BQS900（9～15 mm壁用）	BQS901（16～25 mm壁用）

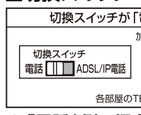
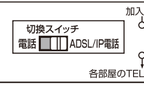
各部のなまえとはたらき

通信系内器　電源ユニット　10/100スイッチングHUB



※品種によりスイッチングHUB、ブースタ、分配器等の構成機器が異なる場合があります。
※AC 100 V電源用端子が接続されているものがあります。

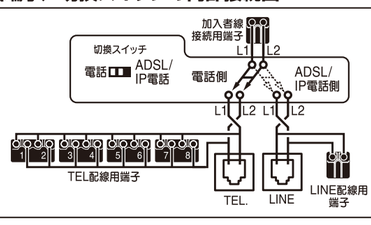
■切換スイッチ

切換スイッチが「電話」側の場合	切換スイッチが「ADSL/IP電話」側の場合
	

●「電話」側の場合
加入者線はTEL配線用端子1～8とTEL用モジュラジャックに接続されます。

●「ADSL/IP電話」側の場合
加入者線はLINE配線用端子とLINE用モジュラジャックに接続され、TEL配線用端子1～8と加入者線とは切り離されます。

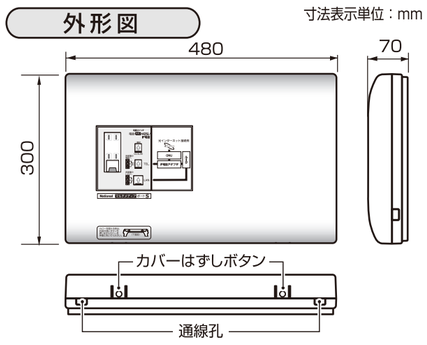
■電話端子／切換スイッチの内部接続図



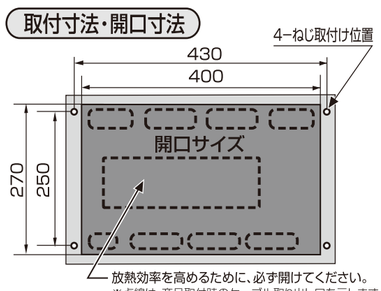
付属品（施工時の付属品を含む、商品によっては付属されないものもあります。）

●施工説明書×1枚 ●取扱説明書×1枚 ●施工チェック表×1枚 ●施工シール×1枚
●消費者センターカード×1枚 ●皿頭タッピンねじ×1本 ●取付ねじ×4コ（本体に付いています。）
●なべ頭Pタイトねじ（WTJ5046）×4本（ブースタ取付け用：長さ10 mm、分配器取付け用：長さ12 mm）
●ループバックコネクタ（スイッチングHUB内蔵のポートのみ本体に付いてます。）

外形図　寸法表示単位：mm



取付寸法・開口寸法



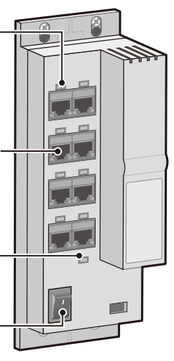
取付・結線方法

通信系内器の施工説明

LAN配線

●**適 用 電 線**：φ0.5 Cu（銅）単線専用
●**適用ケーブル**：LANケーブルCAT6、CAT5E

スイッチングHUB

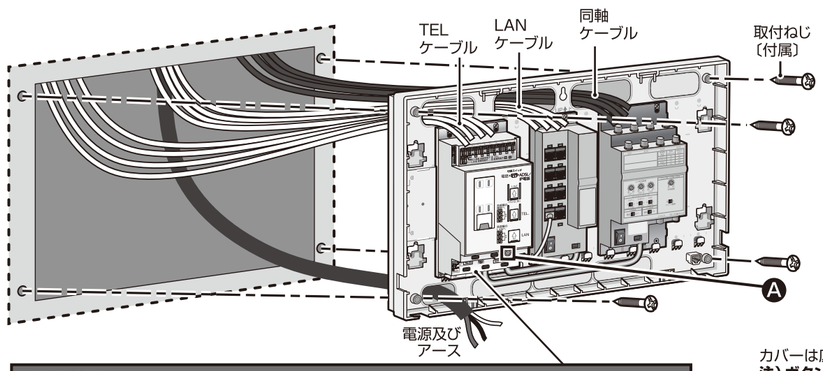


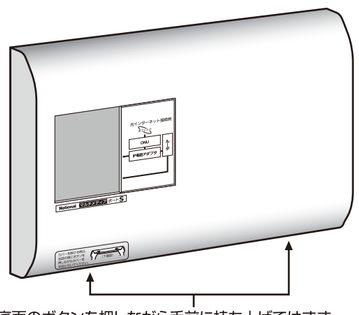
LINK/ACT.LED
点灯/点滅でリンクまたはデータ送受信状態色で通信速度および通信モードを表示します。

LAN用ポート（1～8）
10BASE-T/
100BASE-TX（自動認識）

POWER LED
電源スイッチが『入』のとき点灯します。

電源スイッチ
常時「入」にして使用します。



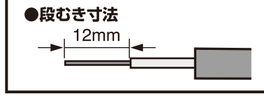


カバーは底面のボタンを押しながら手前に持ち上げてはずす。
注）ボタンを押しすぎるとボタンを破損させる場合があります。

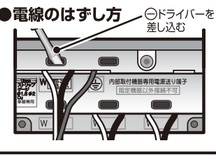
電源端子　注）必ず接地線を接続してください。

●**適用電線**
φ1.6 φ2 Cu（銅）単線専用

●**段むき寸法**



●**電線のはずし方**



※図はWTJ5146
※配管固定金具DSMKN1001［別売］を使用すると管端が固定できます。

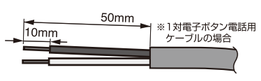
注意！
・天井面から15 mm以上、両側面および下面から50 mm以上離して取り付けてください。
・壁面が柔軟な場合、補強材を使用してしっかり取り付けてください。

TEL配線

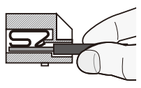
Ⓐのねじをドライバーで外して、端子台ユニットを取り外して接続することもできます。

●**適用電線**
φ0.5～φ0.65Cu（銅）単線専用
2対または1対電子ボタン電話用ケーブル

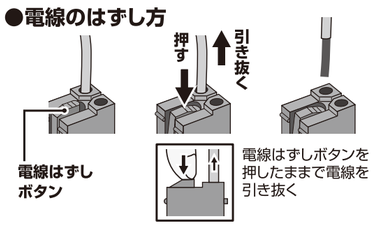
●**段むき寸法**



●**結線方法**
心線を一本づつ奥までまっすぐ差し込む



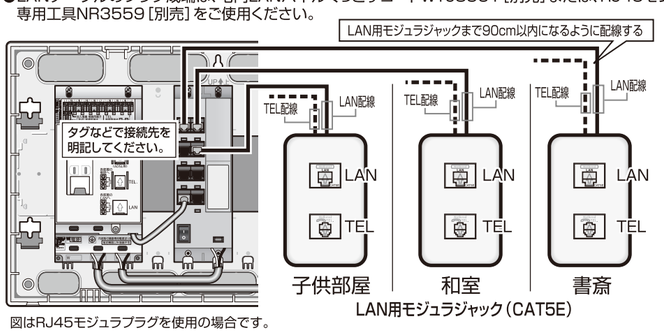
●**電線のはずし方**



※スイッチングHUBが内蔵されていない マルチメディア ポートSの場合、本項の施工は不要です。

スイッチングHUBから各部屋のLAN用モジュラジャックにLANケーブルでスター配線します。

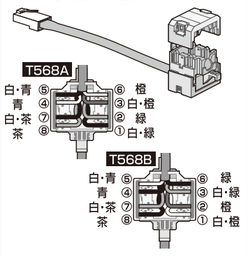
●LANケーブルのプラグ成端は、宅内LANパネルぐっとすコードWTJ8901［別売］または、RJ45モジュラプラグNR3550［別売］と専用工具NR3559［別売］をご使用ください。

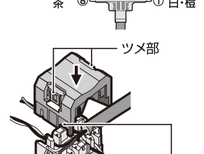


図はRJ45モジュラプラグを使用の場合です。

■ぐっとすコードをご使用の場合

●ぐっとすコードWTJ8901（別売）を使用して結線できます。





❶ケーブル外被を50 mm程度むく
❷キャップのツメ部をつまんで本体からはずす
❸心線をラベルのAまたはBの色に合わせて溝に挿入する
❹キャップの先端で心線をぐっと押し込む
❺余線を1 mm以下に切断する
❻キャップを取り付ける

※結線後、プラグ側をスイッチングHUBのポートに差し込み、コードを放熱用開口部を通して、裏面に収納してください。

■LAN配線のプラグ成端の方法（NR3550の場合）

適用電線：AWG24（φ0.5）単線　注）必ず専用の圧着工具NR3559（別売）をご使用ください。

❶ケーブルの外被をむく

注意！ 心線を傷つけないようにむいてください。

❷外被先端を押え、平に整列する

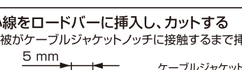
外被を指ではさんで、外被の中の各対を整列させます。

❸撚りをもどして整列し、先端をカットする
心線の撚りをもどしながら、表の端子配列規格の色順番どおり整列させ、先端をカットしてください。

番号	T568A	T568B	プラグのピン番号
1	白・緑	白・橙	
2	緑	橙	
3	白・橙	白・緑	
4	青	青	
5	白・青	白・青	
6	橙	緑	
7	白・茶	白・茶	
8	茶	茶	

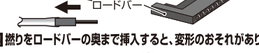
注意！
外被の中まで心線の撚りをもどさないでください。

❹心線をロードバーに挿入し、カットする
外被がケーブルジャケットノッチに接触するまで挿入する

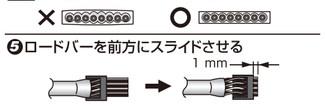


注意！ 撚りをロードバーの奥まで挿入すると、変形のおそれがあります。

❺ロードバーを前方にスライドさせる

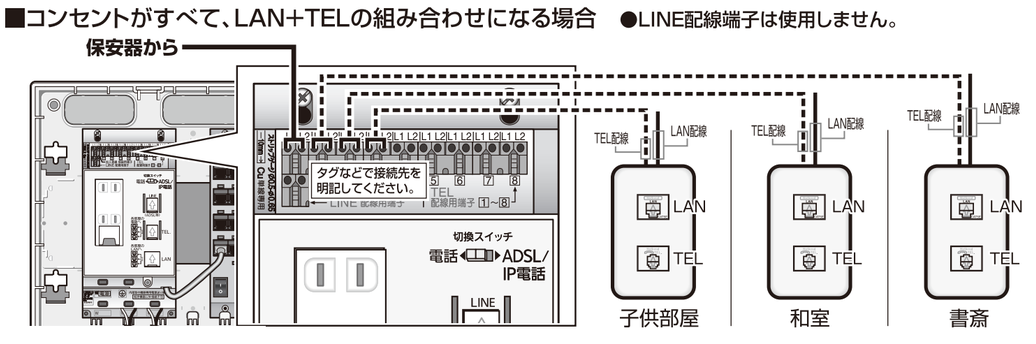


❻モジュラプラグに挿入し、圧着する

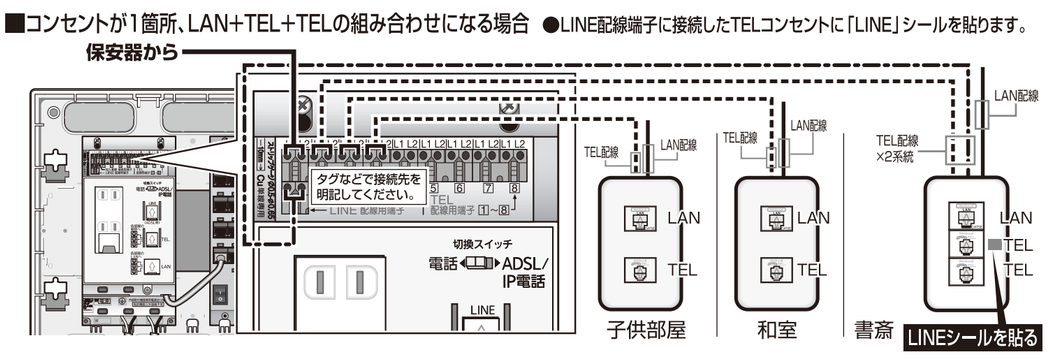


心線の先端がモジュラプラグの前面に当たるまで差し込む

■コンセントがすべて、LAN+TELの組み合わせになる場合　●LINE配線端子は使用しません。



■コンセントが1箇所、LAN+TEL+TELの組み合わせになる場合　●LINE配線端子に接続したTELコンセントに「LINE」シールを貼ります。



施工後の確認

●**切換スイッチ**…施工後は切換スイッチを電話側にしておいてください。
●**LAN配線**…宅内LAN施工後には、必ず配線確認が必要です。LAN配線チェッカーWTJ7002［別売］などを使用し、短絡、接続状態の確認を行ってください。

宅内LANの施工完了後は、局線接続工事を行う工事担当者に施工内容を引き継ぐ為、同梱の施工チェック表に必要事項を記入の上 マルチメディア ポートS内に残すようにしてください。

生産終了品

この商品は生産終了につき製造することができません

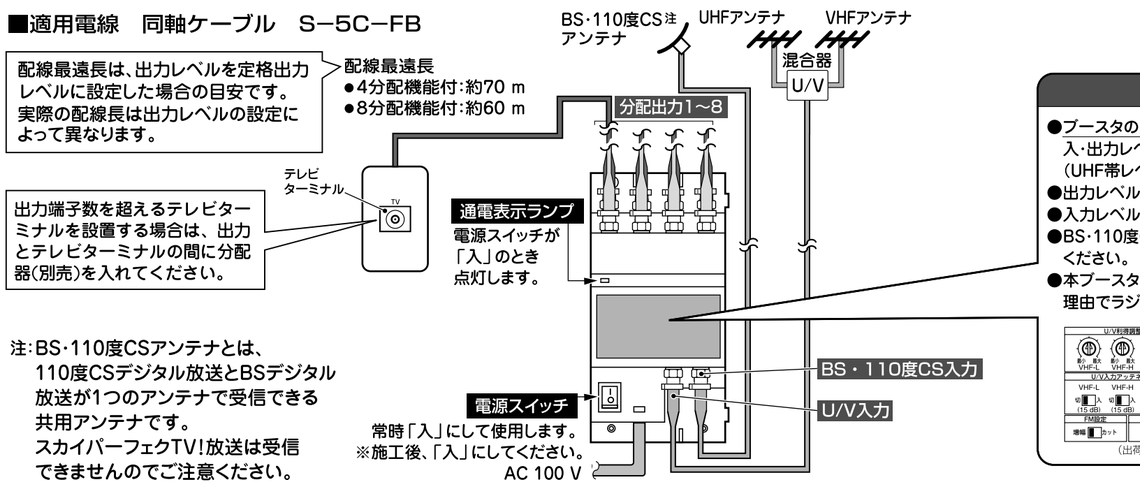
映像系内器の施工説明

U/V・BS・110度CSブースタ（8分配機能付）WTJ6418

鮮明な画像を得るためには、テレビターミナルの出力レベルをVHF:62 dBμ以上、UHF:69 dBμ以上、BS・110度CS:54 dBμ以上になるように利得調整が必要です。

■適用電線　同軸ケーブル　S−5C−FB

付属品　•F形コネクタ……10個（WTJ5146）



配線最遠長は、出力レベルを定格出力レベルに設定した場合の目安です。実際の配線長は出力レベルの設定によって異なります。

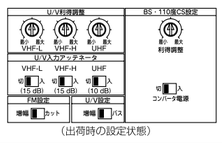
配線最遠長
- ●4分配機能付：約70 m
- ●8分配機能付：約60 m

出力端子数を超えるテレビターミナルを設置する場合は、出力とテレビターミナルの間に分配器（別売）を入れてください。

注：BS・110度CSアンテナとは、110度CSデジタル放送とBSデジタル放送が1つのアンテナで受信できる共用アンテナです。スカイパーフェクTV!放送は受信できませんのでご注意ください。

アッテネータスイッチ／利得調整ボリュームの設定

- ●ブースタの入・出力レベルを確認して、適切なレベルに調整してください。
  入・出力レベルが大きすぎるとテレビ画面が白っぽく見えたり、しま模様が入ることがあります。
  （UHF帯レベルが大きすぎると、BS帯に影響を及ぼすことがありますのでご注意ください。）
- ●出力レベルは適切な出力レベルになるよう、利得調整ボリュームを合わせてご使用ください。
- ●入力レベルが適正入力範囲の上限値を超える場合は、アッテネータスイッチを「入」にして利得調整ボリュームを調整してください。
- ●BS・110度CSアンテナの設置後、アンテナのコンバータ部にブースタから電源を供給する場合は、コンバータ電源スイッチを「入」にしてください。
- ●本ブースタのVHF-L帯（76〜108 MHz）増幅回路はFMラジオ信号を増幅します。FM送信塔に近い地域等の理由でラジオ信号がテレビ信号に比べて極端にレベルが高い場合はFM設定スイッチを「カット」にしてください。



（出荷時の設定状態）

- ●受信システム変更（例えばCATVに加入）等の理由でU/V増幅が不要になった場合、U/V設定スイッチを「パス」に設定すると、「混合端子付きBS・110度CS分配ブースタ」としてご使用いただけます。

※デジタル放送受信機に表示される「アンテナレベル」等については本ページ下の【ご注意】をご参照ください。

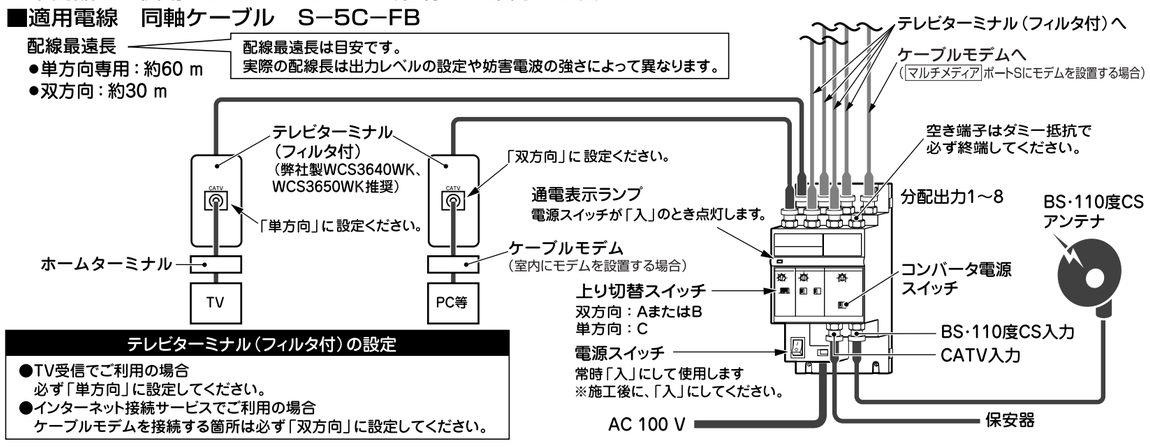
双方向CATV・BS・110度CSブースタ（8分配機能付）WTJ6818

※本商品のご使用については、CATV会社様のご確認が必要です。

■適用電線　同軸ケーブル　S−5C−FB

配線最遠長
- ●単方向専用：約60 m
- ●双方向：約30 m

配線最遠長は目安です。実際の配線長は出力レベルの設定や妨害電波の強さによって異なります。



テレビターミナル（フィルタ付）の設定

- ●TV受信でご利用の場合
  必ず「単方向」に設定してください。
- ●インターネット接続サービスでご利用の場合
  ケーブルモデムを接続する箇所は必ず「双方向」に設定してください。

結線上のご注意（故障・受信不良の原因となります。）

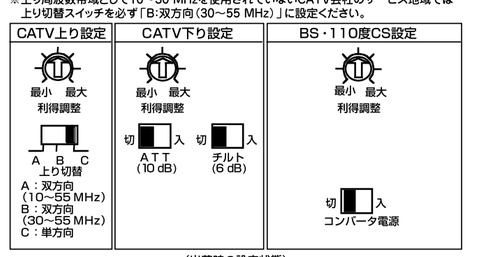
- ● 施工中、電源スイッチを必ず「切」にしてください。
- ● 入・出力端子の接続は確実に行ってください。
- ● 空き端子はダミー抵抗で必ず終端してください。
- ● CATVへの接続およびブースタの利得調整・スイッチ設定はCATV会社指定の施工業者にご依頼ください。

付属品　•F形コネクタ……10個（WTJ5846）

利得調整ボリューム／各種スイッチの設定

- ●受信専用サービスをご利用の場合
  ・上り切替スイッチが「C：単方向」に設定されていることをご確認ください。
  ・CATV入力レベル、出力レベルを確認して、適切な出力レベルになるようATTスイッチ、チルトスイッチ、利得調整ボリュームを調整ください。
  ※テレビターミナル（フィルタ付）の設定も併せてご確認ください。
- ●インターネット接続サービスをご利用の場合
  ・上り切替スイッチ※を「A：双方向（10〜55 MHz）」、または「B：双方向（30〜55 MHz）」に設定してください。
  ・下り出力レベルを調整してください。
  ※テレビターミナル（フィルタ付）の設定も併せてご確認ください。
- ●BS・110度CSデジタル放送をご視聴の場合
  ・BS・110度CSアンテナの設置後、アンテナのコンバータ部にブースタから電源を供給する場合は、コンバータ電源スイッチを「入」にしてください。
  ・適切な出力レベルになるよう、利得調整ボリュームを調整してください。
  （テレビターミナルの出力レベルは54 dBμ以上必要です。）

※上り周波数帯域として10〜30 MHzを使用されていないCATV会社のサービス地域では上り切替スイッチを必ず「B:双方向（30〜55 MHz）」に設定ください。



（出荷時の設定状態）

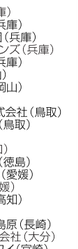
※デジタル放送受信機に表示される「アンテナレベル」等については本ページ下の【ご注意】をご参照ください。

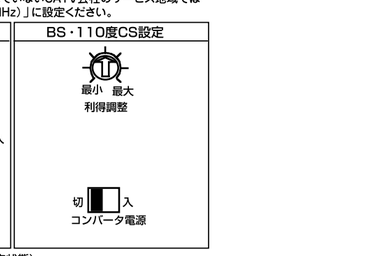
接続確認済CATV会社様一覧

- ●株式会社ジュピターテレコム（J-COM）（全国）
- ●旭川ケーブルテレビ株式会社（北海道）
- ●青森ケーブルテレビ株式会社（青森）
- ●岩手ケーブルビジョン株式会社（岩手）
- ●株式会社遠野テレビ（岩手）
- ●水沢テレビ株式会社（岩手）
- ●宇都宮ケーブルテレビ株式会社（栃木）
- ●佐野ケーブルテレビ株式会社（栃木）
- ●テレビ小山放送株式会社（栃木）
- ●入間ケーブルテレビ株式会社（埼玉）
- ●行田ケーブルテレビ株式会社（埼玉）
- ●ケーブルネット埼玉株式会社（埼玉）
- ●狭山ケーブルテレビ株式会社（埼玉）
- ●朝ケーブルビジョン株式会社（埼玉）
- ●株式会社JCN船橋習志野（千葉）
- ●株式会社千葉ニュータウンセンター（千葉）
- ●イッツ・コミュニケーションズ株式会社（東京、神奈川）
- ●株式会社大田ケーブルネットワーク（東京）
- ●株式会社JCNコアラ葛飾（東京）
- ●株式会社ケーブルテレビ足立（東京）
- ●株式会社ケーブルテレビジョン東京（東京）
- ●さくらケーブルテレビ株式会社（東京）
- ●株式会社城北ニューメディア（東京）
- ●多摩ケーブルネットワーク株式会社（東京）
- ●株式会社多摩テレビ（東京）
- ●東京ケーブルネットワーク株式会社（東京）
- ●豊島ケーブルネットワーク株式会社（東京）
- ●日野ケーブルテレビ株式会社（東京）
- ●株式会社JCN南横浜（神奈川）
- ●湘南ケーブルネットワーク株式会社（神奈川）
- ●浜松ケーブルテレビ株式会社（静岡）
- ●株式会社LCV（長野）
- ●株式会社ケーブルテレビ松本ケーブルビジョン（長野）
- ●株式会社大垣ケーブルテレビ（岐阜）
- ●株式会社アイ・シー・シー（愛知）
- ●シーエーティーブイ愛知株式会社（愛知）
- ●知多メディアスネットワーク株式会社（愛知）
- ●知多半島ケーブルネットワーク株式会社（愛知）
- ●豊橋ケーブルネットワーク株式会社（愛知）
- ●スターキャットケーブルネットワーク株式会社（愛知）
- ●西尾張シーエーティーヴィ株式会社（愛知）
- ●ミックスネットワーク株式会社（愛知）
- ●株式会社アイティービー（三重）
- ●伊賀上野ケーブルテレビ株式会社（三重）
- ●株式会社ジー・ティー・ワイ（三重）
- ●株式会社ZTV（三重）
- ●株式会社アドバンスコープ（三重）
- ●株式会社新川インフォメーションセンター（富山）
- ●射水ケーブルテレビ株式会社（富山）
- ●高岡ケーブルネットワーク株式会社（富山）
- ●となみ衛星通信テレビ株式会社（富山）
- ●金沢ケーブルテレビネット株式会社（石川）
- ●株式会社テレビ小松（石川）
- ●福井ケーブルテレビ株式会社（福井）
- ●株式会社嶺南ケーブルネットワーク（福井）
- ●恵中・池田マルチメディア株式会社（大阪）
- ●ケーブルウエスト株式会社 大阪セントラル社（大阪）
- ●株式会社ベイ・コミュニケーションズ（大阪）
- ●株式会社テレビ岸和田（大阪）
- ●株式会社京都ケーブルコミュニケーションズ（京都）
- ●コミュニケーションネットワーク余呉（滋賀）
- ●株式会社甲賀ケーブルネットワーク（滋賀）
- ●株式会社明石ケーブルテレビ（兵庫）
- ●BAN-BANテレビ株式会社（兵庫）
- ●株式会社ケーブルテレビ神戸（兵庫）
- ●財団法人神戸市開発管理事業団（兵庫）
- ●株式会社ベイ・コミュニケーションズ（兵庫）
- ●姫路ケーブルテレビ株式会社（兵庫）
- ●岡山ネットワーク株式会社（岡山）
- ●株式会社倉敷ケーブルテレビ（岡山）
- ●株式会社中海テレビ放送（鳥取）
- ●日本海ケーブルネットワーク株式会社（鳥取）
- ●山陰ケーブルビジョン株式会社（鳥取）
- ●株式会社アイ・キャン（山口）
- ●Kケーブルテレビ株式会社（山口）
- ●株式会社鳴門ケーブルビジョン（徳島）
- ●宇和島ケーブルテレビ株式会社（愛媛）
- ●株式会社ハートネットワーク（愛媛）
- ●高知ケーブルテレビ株式会社（高知）
- ●株式会社メック（福岡）
- ●株式会社ケーブルテレビジョン島原（長崎）
- ●大分ケーブルテレコム放送株式会社（大分）
- ●株式会社ケーブルメディアワイワイ（宮崎）

（記載以外にも確認済の会社がある場合がありますので、必要に応じてお問い合わせください。）

双方向CATV・BS・110度CSブースタ（8分配機能付）





（出荷時の設定状態）

※デジタル放送受信機に表示される「アンテナレベル」等については本ページ下の【ご注意】をご参照ください。

ブースタの主な仕様

●U/V・BS・110度CSブースタ（8分配機能付）

項目 ＼ 周波数帯域 [MHz]		FM/VHF-L	VHF-H	UHF	BS-IF/CS-IF
		76〜108	170〜222	470〜770	1000〜2150
利得 [dB]	総　合	15以上	15以上	14以上	10以上
	増幅回路部（参考値）	（30相当）	（30相当）	（30相当）	（30相当）
利得調整範囲 [dB]		0〜−10（連続可変）	0〜−10（連続可変）	0〜−15（連続可変）	0〜−15（連続可変）
入力アッテネータ [dB]		0、15	0、15	0、10	—
定格出力レベル [dBμ]	総　合	91（2波）	92（5波）	85（7波）	82（24波）
	増幅回路部（参考値）	（103相当）	（104相当）	（104相当）	（99相当）
適正入力範囲 [dBμ] ※1		47〜70（95）	47〜71（96）	55〜71（96）	44〜66（81）
雑音指数 [dB]		5.0以下	5.0以下	6.0以下	7.0以下
電圧定在波比	入　力	3.0以下	3.0以下	3.0以下	2.5以下
	出　力	3.0以下	3.0以下	3.0以下	2.5以下
入出力インピーダンス [Ω]		75（F型コネクタ）			
電源		AC 100 V 50/60 Hz			
コンバータ供給電圧		DC 15 V（最大4 W）			
定格消費電力		10 W（コンバータ電源供給　4 W時）			
寸法 [mm]		W100×D50×H200			

※1　適正入力範囲の（　）内は利得最小時、入力アッテネータ 入時の値を記載。但し、BS-IF/CS-IFは利得最小時の値を記載。
※110度CSデジタル放送の右旋円偏波受信に対応しています。

●双方向CATV・BS・110度CSブースタ（8分配機能付）

項目 ＼ 帯域		CATV 上り	CATV 下り	BS-IF・CS-IF
		10（30）※1〜55	70〜770	1000〜2150
伝送チャンネル数		2波	74波+ﾃﾞｼﾞﾀﾙ36波	24波
定格出力レベル [dB μ]	総合	113	83	82
	増幅回路部（参考値）	（113）	（96）	（99）
利得 [dB]	総合	4以上	14以上	11以上
	増幅回路部（参考値）	（20相当）	（30相当）	（30相当）
利得調整範囲 [dB]		0〜−10以上（連続可変）	0〜−10以上（連続可変）	0〜−15以上（連続可変）
入力アッテネータ [dB]		—	0,10切換	—
チルト [dB]		—	6 dB/70 MHz※2	—
雑音指数 [dB]		20以下	10以下	7以下
2 次相互変調 [dB]		−60以下	−60以下	—
複合3 次歪（CTB）[dB]		—	−60以下	—
混変調 [dB]		—	−56以下	—
ハム変調 [dB]		−60以下		−50以下
電圧定在波比		2.0以下（10〜15 MHz:2.5以下）		2.5以下
入力インピーダンス [Ω]		75（F型コネクタ）		
電源		AC 100 V　50/60 Hz		
コンバータ供給電圧		DC 15 V　（最大4 W）		
定格消費電力		11 W　（コンバータ電源4 W供給時）		
寸法 [mm]		W100×D50×H200		

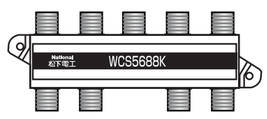
※1　上り帯域切替時　　※2　770 MHzを基点とした70 MHzでのチルト量
※110度CSデジタル放送の右旋円偏波受信に対応しています。

分配器（電流通過形）（10〜2602MHz）WCS5688K（8分配器）

■適用電線　同軸ケーブル　S−5C−FB

施工上のご注意

- ●空端子には、ダミー［市販品］を必ず接続してください。
- ●誘導雷を受けるおそれのある場合は、アース線で接地してください。



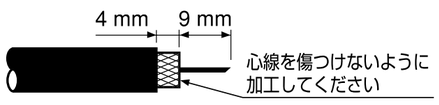
特　性　表

分配損失 [dB以下]							端子間結合損失 [dB以上]							電圧定在波比 [以下]							電流通過
10〜76 MHz	76〜222 MHz	222〜770 MHz	770〜1336 MHz	1336〜1770 MHz	1770〜2150 MHz	2150〜2602 MHz	10〜76 MHz	76〜222 MHz	222〜770 MHz	770〜1336 MHz	1336〜1770 MHz	1770〜2150 MHz	2150〜2602 MHz	10〜76 MHz	76〜222 MHz	222〜770 MHz	770〜1336 MHz	1336〜1770 MHz	1770〜2150 MHz	2150〜2602 MHz	入力〜1出力端子
12.0	11.5	12.5	13.5	15.5	16.5	18.0	13.0	20.0	18.0	15.0	15.0	15.0	15.0	2.5	1.8	1.8	2.0	2.0	2.0	2.5	

付属品　•F形コネクタ……9個（WTJ5446）

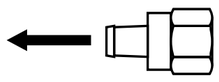
同軸ケーブルの加工・接続方法

❶段むきをする

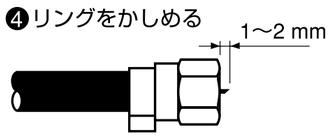


❷編組線を折り返して付属のリングを通す

❸付属のコネクタを挿入する



❹リングをかしめる



■締付トルク

オプション機器取付

ベースユニット（WTJ5046）の場合、ご希望にあわせた組合わせが可能です。
構成部材のモジュール数の合計が、マルチメディア ポート用ボックスセットの搭載可能モジュール数に収まるように組合せてください。

ご注意!

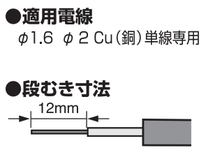
- ●取り付ける際は、機器付属の施工説明書をご確認の上、付属のねじにて取り付けてください。
  - ● ブースタ　　：なべ頭Pタイトねじ（長さ10 mm）×2
  - ● 分配器　　：なべ頭Pタイトねじ（長さ12 mm）×2
  - ● 露出コンセント：皿頭タッピンねじ（長さ14 mm）×1
- ●スイッチングHUB（WTJ8401K）を複数台ご使用の場合は、スイッチングHUBとスイッチングHUBの間隔を1モジュール分あけるようにしてください。
- ●露出コンセントは、マルチメディア ポートSに内蔵された機器専用です。
  マルチメディア ポートS外部の機器の電源に使用したり、コンセントの送り端子を使用して電源を送ったりしないでください。

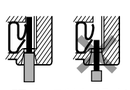
AC 100 V用電源端子

注）必ず接地線を接続してください。

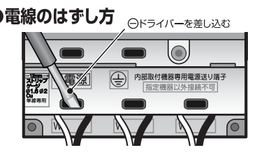
●適用電線
φ1.6　φ 2 Cu（銅）単線専用

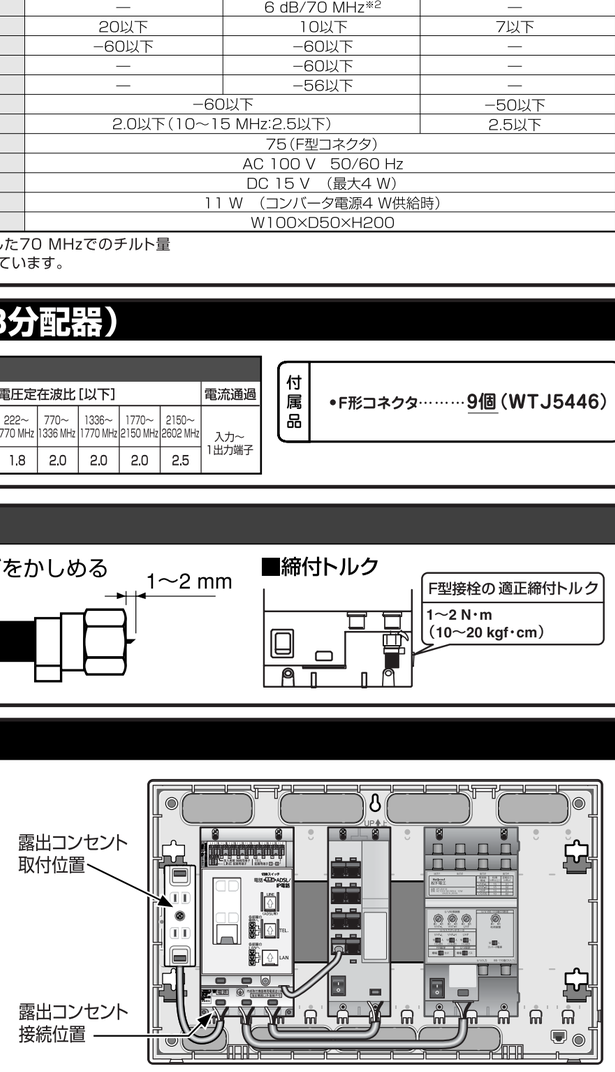
●段むき寸法





●電線のはずし方





【ご注意】デジタル放送受信機に表示される「アンテナレベル」等について

ブースタを設置しても、デジタル放送受信機に表示される「アンテナレベル」や「受信レベル」の数値（指標）が変わらない場合や下がる場合がありますが、ブースタの不具合ではありません。
「アンテナレベル」や「受信レベル」は、アンテナの方向調整を目的とした機能で、受信CN比の換算値を表しており、電波の強さを表すものではありません。

〔〒571−8686〕大阪府門真市門真1048　　松下電工株式会社　　TEL（06）6908 -1131（大代表）

8A3 145 0000 1　　K 0607−0 IV